



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 大東銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8563 URL https://www.daitobank.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 孝雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営部長 (氏名) 三浦 謙一 TEL 024-925-3872  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,746	5.6	1,238	17.7	833	20.2
2020年3月期第3四半期	9,233	△1.0	1,052	64.9	693	△46.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,893百万円 (747.4%) 2020年3月期第3四半期 223百万円 (△78.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	65.80	—
2020年3月期第3四半期	54.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	958,541	40,603	4.1
2020年3月期	790,655	39,090	4.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 39,761百万円 2020年3月期 38,268百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△11.7	1,000	△31.8	700	△34.1	55.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	12,701,462株	2020年3月期	12,701,462株
2021年3月期3Q	29,188株	2020年3月期	28,703株
2021年3月期3Q	12,672,533株	2020年3月期3Q	12,673,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
3. 2020年度第3四半期決算説明資料(単体ベース)	
(1) 損益の状況 .....	7
(2) 金融再生法開示債権の状況 .....	8
(3) 時価のある有価証券の評価差額 .....	8
(4) 自己資本比率(国内基準) .....	9
(5) 預金、貸出金等の残高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息の増加等による資金運用収益の増加や役員取引等収益の増加などにより、前年同期比5億12百万円増加して97億46百万円となりました。

経常費用は、物件費の削減等により営業経費は減少したものの、国債等債券売却損の計上によるその他業務費用の増加により、前年同期比3億26百万円増加して85億8百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比1億86百万円増加して12億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億40百万円増加して8億33百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は9,585億円、純資産は406億円となりました。また、主要勘定は以下のとおりとなりました。

預金(譲渡性預金を含む)は、前年度末比778億円増加して8,209億円となりました。

貸出金は、前年度末比346億円増加して5,726億円となりました。

有価証券は、前年度末比105億円減少して1,763億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(通期)の業績予想(連結・個別)につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響など、依然として不透明な要因があることから、当初予想(2020年5月15日公表)の数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	49,809	193,771
有価証券	186,941	176,362
貸出金	538,006	572,694
外国為替	450	1,393
リース債権及びリース投資資産	2,298	2,259
その他資産	2,929	2,973
有形固定資産	10,263	10,142
無形固定資産	969	551
退職給付に係る資産	397	408
繰延税金資産	109	66
支払承諾見返	1,079	779
貸倒引当金	△2,599	△2,863
資産の部合計	790,655	958,541
<b>負債の部</b>		
預金	681,221	756,412
譲渡性預金	61,833	64,495
借入金	470	90,360
外国為替	0	0
その他負債	4,089	3,186
賞与引当金	125	39
退職給付に係る負債	1,278	1,248
睡眠預金払戻損失引当金	275	236
偶発損失引当金	115	91
繰延税金負債	9	21
再評価に係る繰延税金負債	1,065	1,065
支払承諾	1,079	779
負債の部合計	751,564	917,938
<b>純資産の部</b>		
資本金	14,743	14,743
資本剰余金	1,294	1,294
利益剰余金	21,359	21,813
自己株式	△48	△49
株主資本合計	37,349	37,802
その他有価証券評価差額金	△988	60
土地再評価差額金	1,862	1,862
退職給付に係る調整累計額	46	36
その他の包括利益累計額合計	919	1,958
非支配株主持分	821	841
純資産の部合計	39,090	40,603
負債及び純資産の部合計	790,655	958,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	9,233	9,746
資金運用収益	6,013	6,161
(うち貸出金利息)	4,494	4,747
(うち有価証券利息配当金)	1,490	1,338
役務取引等収益	2,119	2,222
その他業務収益	884	1,017
その他経常収益	216	344
経常費用	8,181	8,508
資金調達費用	113	83
(うち預金利息)	102	74
役務取引等費用	755	720
その他業務費用	594	1,253
営業経費	6,049	5,856
その他経常費用	670	592
経常利益	1,052	1,238
特別利益	17	4
固定資産処分益	17	4
特別損失	13	16
固定資産処分損	13	12
減損損失	—	4
税金等調整前四半期純利益	1,055	1,226
法人税、住民税及び事業税	334	296
法人税等調整額	24	82
法人税等合計	359	378
四半期純利益	696	848
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	693	833

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	696	848
その他の包括利益	△473	1,045
その他有価証券評価差額金	△463	1,055
退職給付に係る調整額	△9	△10
四半期包括利益	223	1,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235	1,873
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、当中間連結会計期間の四半期報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、当該仮定については不確実性を有しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や経済への影響の変化等により、今後の業績に影響を及ぼす可能性があります。

3. 2020年度第3四半期決算説明資料(単体ベース)

(1) 損益の状況

～前年同期比増収増益～  
 ○コア業務純益(除く投資信託解約損益)は前年同期比71.9%増加  
 銀行の本来業務の収益力を示すコア業務純益(除く投資信託解約損益)は、貸出金利息の増加等に伴う資金利益の増加や、預り資産手数料の増加等に伴う役務取引等利益の増加、加えて物件費の削減等による営業経費の減少などにより、前年同期比5億38百万円増加して12億88百万円となりました。  
 ○経常利益、四半期純利益ともに前年同期比増加  
 経常利益は11億63百万円(前年同期比1億42百万円増加)、四半期純利益は7億98百万円(前年同期比1億15百万円増加)となりました。

(単位:百万円)

	No.	2020年度 第3四半期 (9か月間) (A)	2019年度 第3四半期 (9か月間) (B)	比較 (A)-(B)	<予想値> 2020年度 通期 (12か月間)
経常収益	1	8,935	8,340	595	9,900
業務粗利益	2	7,043	7,209	△165	
資金利益	3	6,068	5,885	183	
役務取引等利益	4	1,289	1,131	157	
その他業務利益	5	△313	192	△506	
(うち国債等債券損益)	6	△346	219	△565	
経費(除く臨時処理分)	7	5,634	5,784	△150	
うち人件費	8	2,718	2,696	22	
うち物件費	9	2,552	2,730	△177	
実質業務純益	10	1,409	1,424	△15	
コア業務純益	11	1,755	1,205	549	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	12	1,288	749	538	
①一般貸倒引当金繰入額	13	65	50	14	
業務純益	14	1,344	1,374	△30	
臨時損益	15	△180	△352	172	
②不良債権処理額	16	277	533	△255	
株式等関係損益	17	△62	1	△64	
その他臨時損益	18	159	178	△18	
③うち貸倒引当金戻入益等	19	23	19	4	
経常利益	20	1,163	1,021	142	900
特別損益	21	△11	1	△12	
税引前四半期純利益	22	1,152	1,023	129	
法人税、住民税及び事業税	23	280	303	△23	
法人税等調整額	24	74	36	38	
法人税等合計	25	354	340	14	
四半期(当期)純利益	26	798	683	115	700
与信関連費用①+②-③	27	318	563	△245	

(2) 金融再生法開示債権の状況

当四半期末の金融再生法ベースのカテゴリによる開示債権額は、コロナ対策としての資金繰り支援に積極的に取り組んだことなどから、前年同期末比18億円増加して151億円、開示債権比率は同0.14ポイント上昇して2.62%となりました。

(単位：億円)

	2020年12月末			2020年 9月末	2019年 12月末
		2020年 9月末比	2019年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	28	1	△6	27	34
危険債権	106	7	26	99	80
要管理債権	17	△0	△2	17	19
合 計	151	8	18	143	133
開示債権比率	2.62%	0.12%	0.14%	2.50%	2.48%

(注) 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額

当四半期末のその他有価証券の評価差額は、9億円の評価益となりました。

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	2020年12月末				2020年9月末				2019年12月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1,753	9	32	23	1,760	5	32	26	1,924	25	42	16
株式	25	△0	4	4	28	△1	4	6	32	2	7	5
債券	1,363	11	13	2	1,357	11	14	3	1,401	17	19	1
その他	364	△1	14	16	374	△4	13	17	491	5	15	10

(注) 各四半期末の「評価差額」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

(4) 自己資本比率(国内基準)

当四半期末の自己資本比率は、連結で10.53%、単体で10.22%となり、前年同期末比連結で0.89ポイント、単体で0.87ポイント上昇しました。

(単位：百万円)

	【連結】				
	2020年12月末			2020年 9月末	2019年 12月末
		2020年 9月末比	2019年 12月末比		
(1) 自己資本比率((4)/(5))	10.53%	0.21%	0.89%	10.32%	9.64%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	39,495	283	684	39,211	38,811
(イ) うち、普通株式に係る株主資本の額	37,802	273	822	37,529	36,979
(ロ) うち、その他の包括利益累計額	36	△3	△62	39	98
(ハ) うち、一般貸倒引当金	793	13	136	779	657
(ニ) うち、土地再評価差額金	526	—	△131	526	658
(ホ) うち、負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—
(ヘ) うち、非支配株主持分	336	0	△80	336	416
(3) コア資本に係る調整項目の額	673	△92	△409	765	1,082
(4) 自己資本の額((2)-(3))	38,822	375	1,093	38,446	37,728
(5) リスク・アセット等の額の合計額	368,570	△3,841	△22,532	372,411	391,103
(6) 総所要自己資本額((5)×4%)	14,742	△153	△901	14,896	15,644

(単位：百万円)

	【単体】				
	2020年12月末			2020年 9月末	2019年 12月末
		2020年 9月末比	2019年 12月末比		
(1) 自己資本比率((4)/(5))	10.22%	0.20%	0.87%	10.02%	9.35%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	37,925	272	757	37,653	37,168
(イ) うち、普通株式に係る株主資本の額	36,637	258	750	36,378	35,886
(ロ) うち、一般貸倒引当金	761	13	139	748	622
(ハ) うち、土地再評価差額金	526	—	△131	526	658
(ニ) うち、負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—
(3) コア資本に係る調整項目の額	664	△90	△356	754	1,020
(4) 自己資本の額((2)-(3))	37,261	362	1,114	36,899	36,147
(5) リスク・アセット等の額の合計額	364,327	△3,918	△22,259	368,246	386,587
(6) 総所要自己資本額((5)×4%)	14,573	△156	△890	14,729	15,463

(5) 預金、貸出金等の残高

総預金(譲渡性預金を含む)は、法人預金及び個人預金が増加したことから、前年同期末比585億円増加して期末残高8,215億円となりました。また、総預金+預り資産残高は、9,354億円となりました。

貸出金は、事業者向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、前年同期末比411億円増加して期末残高5,730億円となりました。

① 預金残高(末残)

(単位:億円)

	2020年12月末		2019年 12月末比	2020年 9月末	2019年 12月末
	2020年 9月末比	2019年 12月末比			
総預金(譲渡性預金を含む)	8,215	99	585	8,115	7,629
うち個人預金	5,510	81	155	5,428	5,355

② 預り資産残高

(単位:億円)

	2020年12月末		2019年 12月末比	2020年 9月末	2019年 12月末
	2020年 9月末比	2019年 12月末比			
預り資産合計	1,139	2	△34	1,136	1,173
投資信託	405	12	△7	393	413
公共債	53	△0	△3	53	56
個人保険	680	△9	△23	690	704

③ 中小企業等貸出金比率

(単位:億円)

	2020年12月末		2019年 12月末比	2020年 9月末	2019年 12月末
	2020年 9月末比	2019年 12月末比			
貸出金	5,730	48	411	5,681	5,318
うち中小企業等貸出金	4,301	85	514	4,216	3,786
中小企業等貸出金比率(%)	75.05	0.85	3.86	74.20	71.19

④ 個人ローン残高

(単位:億円)

	2020年12月末		2019年 12月末比	2020年 9月末	2019年 12月末
	2020年 9月末比	2019年 12月末比			
合計	1,841	19	70	1,822	1,771
うち住宅ローン	1,674	19	77	1,654	1,597
うち消費者ローン	167	△0	△6	167	174

以上